

平成30年度第2回玉野市教科用図書選定委員会 会議録

開催日時：平成30年7月20日（金）10：00～12：00

開催場所：玉野市庁舎 4階 第1委員会室

出席者 7名

欠席者 なし

<内容>

1 開会（会長）

子どもたちの道徳性を養うために効果的で、子どもたちにとっても教員にとっても最も意義のある教科書を選定していきたい。

2 経過報告（事務局）

要項に沿って説明

3 説明・協議

（1）経過報告について（事務局）

（2）審議の仕方について（事務局）

（3）研究委員の報告

研究委員から研究報告書に沿って、総合所見を中心に8社すべての教科書の説明がされた。

（選定委員）道徳ノートの有無や道徳のノートの活用の仕方についてはどういった議論になったか。

（研究委員）道徳ノートについては十分議論した。道徳ノートがあるのは2社で、それぞれの道徳ノートはタイプが違う。日本文教出版は発問がそのまま載っているので授業の展開等が限定される点が気になるが、経験の少ない先生にとっては授業がやりやすいとも考えられる。道徳ノートがなければ授業ごと教師が工夫して作成したワークシートを使いファイルにとじることとなる。廣済堂あかつきについては道徳の価値項目によって分けられている道徳ノートであり、複数の授業を終えて記入する場合もある。道徳ノートの有無については一長一短であると考え、一概に道徳ノートの有る無しでは判断できないと考えた。

(選定委員) 教科書によっては毎時間、評価と振り返りをするようになっているが、その点についてどう考えているのか。

(研究委員) 教科書によっては毎時間の自己評価欄が設けられている。振り返りについては教科書によって様々であり、学期ごとや1年間のものもある。子どもたちが授業を受けて、どのように変容していったのかを大きくくりなまとまりで評価することが重要なので、まとまりごととか学期ごとで効果的に振り返る方が良いと考えるので、毎時間記述には課題がある。

(会 長) 現代的な課題解決が充実していることについてお聞きしたい。

(研究委員) 現代的な課題についてはいじめ問題や情報モラル等があると思うが、いじめ問題については、ユニットを組んでいる教科書や時期をバラバラに配置している教科書がある。いじめが起こる可能性が高い時期(年度が始まっての5月ごろと学校行事)等も考慮して、配置している時期が適切かどうかも十分協議した。また、東京書籍や日本文教出版は、ユニットを組んであったり、問題を把握させ、それぞれの立場で考えさたりするような教材が多くあった。

(選定委員) 中学生にとって適切な教材の分量である教科書はどれか。

(研究委員) 分量や文章が長いと感じたのは光村と廣済堂あかつきであり、教材によって長短が感じられるのは学校図書である。

(選定委員) 玉野市が進めているキャリア教育の視点から考えるとどの教科書がよいか。

(研究委員) キャリア教育の点では、どの教科書が優れているとか劣っているかは無い。キャリア教育とはっきり出ている教科書もあるが、キャリア教育という部分での教材が若干多いぐらいであると考えており、優劣の判断にはならないと感じている。

(選定委員) 考え議論することができる教科書についてはどうか。

(研究委員) 道徳的価値を考え議論できる教科書についてはかなりの時間を費やして研究会では議論した。役割演技や話し合いの仕方が示してある点や多くの部分で、考え議論させる授業展開ができるように工夫しているという点から日本文教出版と東京書籍の2社が優れていると考えた。

(報告者退席)

#### (4) 協議

(会 長) 選定委員会報告書の案の記述内容を検討した後、意見書も踏まえて評価をしながら選定協議をしていきたい。東書についてはどうか。

(選定委員) いじめや情報モラルは現代的な課題として考えられるので具体的に評価への記入はしなくてよい。

(選定委員) 巻末にはホワイトボードや心情円がある。また、分量や質問の数が適切である。

- (会 長) 教材の配置も適切である。
- (会 長) 学図についてはどうか。
- (選定委員) 作成案どおりでよい。
- (会 長) 教出についてはどうか。
- (選定委員) 作成案どおりでよい。
- (会 長) 分量が多い教材もあると考えるが、光村についてはどうか。
- (選定委員) 賛同する。
- (会 長) 日文についてはどうか。
- (選定委員) 道徳ノートについて、やはり課題だと思われる。
- (会 長) 学研についてはどうか。
- (選定委員) 作成案どおりでよい。
- (会 長) 廣あかつきについてはどうか。
- (選定委員) 作成案どおりでよい。
- (会 長) 日科についてはどうか。
- (選定委員) 作成案どおりでよい。
- (会 長) 採択にかかる評価について、意見を聞きたい。
- (選定委員) 東京書籍はバランスが良い。教師にとっても生徒にとっても効果的と感じる。  
心情円盤は良い。評価は使用するのにふさわしいと考える。
- (選定委員) 賛成である。
- (選定委員) 学図については心の扉があることや学びの流れも示されており、子どもにとってわかりやすい。
- (会 長) 評価は適しているかどうか。
- (選定委員) 賛成である。
- (選定委員) 教出の役割演技の部分は読み物と関連しているものもあれば関連していないものもある。教材への深まりが進むかどうか気になる。評価は使用できるものであると考える。
- (選定委員) 賛成である。
- (選定委員) 光村は教材が長く1時間でおさまるかどうかが気になるので、使い勝手が良くない感じがする。評価は使用できるものであると考える。
- (選定委員) 賛成である。
- (選定委員) 日文はわかりやすい教科書であると感じている。
- (選定委員) 現代的な課題解決ができる教材は多くあるが、やはり道徳ノートの点や意見書にあるように、毎時間評価するはどうかと考える。評価は使用するのに適していると考えます。
- (選定委員) 賛成である。
- (選定委員) 学研の教科書は、「考えてみよう」か「話し合ってみよう」が最後にあり、ま

とめがしやすい教科書であると感じた。

(会 長) 学研の教科書のサイズはA4であるが、このサイズにする必要があったのか。サイズが大きい割には文字が小さい、文字が詰まっているように感じ、読みにくさや扱いにくさを感じる。評価は使用できるかどうか。

(選定委員) 賛成である。

(選定委員) 廣あかつきは読みにくさを感じる。写真も小さい。

(会 長) 分量も多いことから工夫が必要である。

(選定委員) 道徳ノートも読む部分もあり使いづらい。評価は使用できるかどうか。

(選定委員) 賛成である。

(選定委員) 日科については、教材の配置の面や書き込む欄が少ない点から、指導者の工夫が必要である。評価は使用できるかどうか。

(選定委員) 賛成である。

(会 長) 追加、修正はありますか。

(選定委員) 学図には学びを記録したり1年間のふり返りをしたりする欄が設けられている点を追記すると良いと思われる。先ほどの評価の適しているでよいと考える。

(選定委員) 賛成である。

(会 長) 議論もし尽くしたので、事務局へお返す。

#### (5) 教育委員会への報告について

事務局より説明

#### 5 閉会 (学校教育課長)

(学校教育課長) 熱心な協議についての感謝の言葉、および24日の教育委員会で答申する件と本日の会の議事録はホームページに公開する件の連絡。